

【NY 2017/12/13(水)】 NYMEX 原油先物価格(ドル/バレル)

限月	始値	高値	安値	終値	帳入値	前日比	出来高	取組高	
2018/01	57.45	57.83	56.55	56.70	56.60	-0.54	630,998	233,823	
2018/02	57.43	57.81	56.53	56.69	56.59	-0.57	330,912	416,128	
2018/03	57.43	57.73	56.45	56.60	56.50	-0.63	149,761	342,116	
2018/04	57.36	57.62	56.35	56.49	56.40	-0.68	66,719	168,001	
2018/05	57.23	57.45	56.19	56.34	56.26	-0.71	44,939	142,373	
全体	Last Updated: Wednesday, 13 Dec 2017 02:16 PM							1,444,838	2,571,686

【NY原油概況と分析】 続落、ガソリン在庫や米産油量増を嫌気

米ガソリン在庫の急増や産油量上振れが嫌気され、続落した。原油在庫の大幅な減少、石油輸出国機構(OPEC)産油量の下振れ報告、北海油田のパイプライン操業トラブル、ドル安といったポジティブ材料もみられたが、調整売りが先行している。

アジア・欧州タイムは57ドル台中盤から後半で底固い展開になった。前日引け後にAPIが発表した原油在庫の取り崩しを好感し、素直に強含みの展開になっている。ニューヨークタイム入り後は米エネルギー情報局(EIA)の原油在庫減少にサポートされる場面もみられたが、それ以上にガソリン在庫や米産油量の上振れが嫌気され、57.83ドルを高値に安値56.55ドルまで急落する展開になった。本格的な値崩れを起こすような勢いまでは見られなかったが、上値の重さが再確認されている。

EIA発表の米石油在庫は、原油が前週比512万バレル減、ガソリンが566万バレル増、石油精製品が137万バレル減となった。強弱まちまちの結果だったが、API発表の原油在庫が740万バレルの大幅な減少になっていたこともあり、EIA統計を手掛かりに更に買い進むことは見送られた。そして、米産油量は前週の日量970.7万バレルから978.0万バレルまで上振れしており、シェールオイル増産加速への警戒感が着実に高まっていることも、原油相場の上値を圧迫している。更に原油高を進めることが可能か、慎重な見方が浮上している。

一方、OPECの12月月報では、11月の産油量が前月の日量3,258.1万バレルから3,244.8万バレルまで減少したと報告されたことはポジティブである。アンゴラのメンテナンスの影響が大きい、主要産油国が協調減産合意を着実に履行していることが再確認されている。ただ、2018年のOPEC産原油の推定需要は前月の日量3,342万バレルから3,315万バレルまで引き下げられるなど、ネガティブな動きも報告されている。

北海油田のFortiesのパイプラインに関しては、復旧まで数週間が必要といった悲観的な見通しも示されている。ただ、プレント原油も特に上値を試すことなく大きく値下りしており、WTI原油価格を改めて押し上げるような動きは見られなかった。

需給リバランスへの信認が維持されていることが原油相場を下支えする一方、シェールオイル増産加速の兆候が着実に増えていることが、上値を圧迫している。現状では、シェールオイル増産加速を許容する余地は大きくなく、需給リバランスの実現可能性が低下するリスクから、これ以上の原油価格押し上げには慎重スタンスが維持される見通し。年末に向けて投機筋の膨張した買いポジションに整理が進めば、50ドル台前半程度までは値下がりするリスクがある。

注意事項

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。

本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。

本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。

本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

本レポートの発行者

- 【会社名】 マーケットエッジ株式会社 (Marketedge Co., Ltd.)
【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1 (古川ビル4F)
【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>
【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

【執筆者プロフィール】

マーケットエッジ株式会社 代表取締役 小菅 努 (こすげ・つとむ)
1976年千葉県生まれ。筑波大学卒。商品先物取引会社の営業本部を経て、同時テロ事件直後のニューヨーク事務所にてコモディティ・金融市場の分析を学ぶ。帰国後は調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社代表に就任。商品アナリスト・東京商品取引所認定（貴金属、石油、ゴム、農産物）。

E-mail: kosuge@marketedge.co.jp

Twitter @kosuge_tsutomu